

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和2年8月19日(水)午前9時59分～午前10時38分(9階 908 会議室)

○出席委員(8名)

委員長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委員	高木 直人
委員	川又 康彦
委員	石山 波恵
委員	阿部 亨
委員	小松 良行
委員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- (1) 委員長報告のまとめについて
- (2) その他

午前9時59分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査を議題といたします。

まず初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回の委員会では、委員長報告の素案についてご協議いただき、その際いただいたご意見を踏まえ、正副委員長手元で素案を修正いたしました。

それでは、修正部分を書記に朗読させます。

(書記) それでは、私のほうから説明させていただきます。

素案と新旧対照表のほうを併せて御覧ください。まず、1点目の修正箇所ですが、素案の2ページ目の19行目になります。修正部分を読み上げます。

そうした中においても、エール放送による波及効果は広がりを見せ、古関裕而記念館の来館者数は、6月1日の再オープン以降、8月末で〇〇人となり、昨年同時期の約〇倍の伸びとなっております。

続きまして、2点目の修正箇所ですが、3ページ、こちらの4行目になります。修正部分を読み上げます。

参考人の説明を受け、当委員会としては、古関氏や楽曲をきっかけに、音楽や文化を通じて子供たちに夢や希望を持ってもらうことで、次の福島市を担う人材育成に取り組んでいくことの必要性並びに市民に古関氏の功績や楽曲を伝え、語り継ぐことで福島市への愛着や誇りを持てる取組を続けることの必要性を認識したところであります。

続きまして、3点目の修正箇所になりますが、4ページ、こちらの13から16行目になります。

この待ち時間を活用するため、既にエール村により来館者が快適に過ごせるような取組が行われておりますが、隣接する音楽堂など近隣施設とさらなる連携を図り、一体となって訪れた方へのおもてなしのより一層の強化を図るべきであります。

次の修正箇所になりますが、5ページになります。こちらの4行目から24行目になりまして、提言部分のAの部分とBの部分の位置を入れ替えましたので、それに伴いまして、文言も一部変更となっております。4行目以降を読み上げます。

3点目は、音楽文化の継承と音楽による人材育成、まちづくりについてであります。

本市で生まれ育ち、日本を代表する偉大な作曲家である古関氏の功績や楽曲を若い世代に継承していくことで、本市への誇りや愛着、将来への希望が生まれることから、継承の機会を増やし、継続していくべきであります。

子供たちに古関氏の功績や音楽を継承する取組としては、既存の鼓笛パレードや合唱コンクール等での古関氏の楽曲の活用や、古関氏の楽曲をジャズやポップスなど様々なジャンルに編曲し、一堂に会する音楽フェスティバルを継続的に開催することで、少しずつ古関氏の楽曲が若い世代に浸透し、継承されていくことにつながると考えます。

さらに、古関氏の名を冠した作曲や編曲等のコンクールを創設し、市内外の音楽家に幅広く参加していただくことで、本市ゆかりの音楽家として成功するきっかけをつくり、人材の育成につなげていくべきであります。

このコンクールの開催により、古関氏の功績を継承していくとともに、10年、20年と継続することで市内外に認知され、古関裕而のまち福島の象徴的な事業となり得るものと考えます。

コンクール参加者が、その後、国内外で活躍することで、次世代にとっての夢や目標となり、ひいては音楽を通じた人材育成につながります。

これらの音楽によるまちづくりの浸透には継続的な取組が必要であります。短期的な施策に加えて、音楽文化の振興を図る長期的なビジョンを持ち、行政と市民、団体等が協働で目指すまちづくりの方向性を示すべきであります。

説明は以上になります。

(二階堂武文委員長) それでは、ご意見をお伺いいたします。

(小松良行委員) 1回ざっと自分でも読んでみてもいいですか。

(二階堂武文委員長) では、ちょっとお時間取りますか。10分ぐらいでよろしいですか。皆さん、よろしいですか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) では、10時15分ぐらいまで。

【資料黙読】

(二階堂武文委員長) それでは、そろそろよろしいでしょうか。

それでは、一通り目を通していただきました。

まず、ご意見をお願いしたいと思います。

(小松良行委員) 5ページの9行目、子供たちはこの子供たちで大体みんなそろえているのだっけ。大概、子は漢字で書くけれども、どもたちは平仮名だったり、私の仕事ではそういう書き方をすることが多いのだけれども、どうなのですか。

(書記) 小松委員ご指摘のとおり、確かに福島市でも子供のどもは、平仮名で表記するのですけれども、会議録上では漢字となりますので、漢字でさせていただきました。

(小松良行委員) 新型コロナウイルスの影響というふうなところが3か所ぐらい出てくるのですけれども、もうこの一番最後の締め部分、6ページの4行目、3行目から4行目にかけてなのですが、エールの放送により、古関氏と福島市に関する関心は一気に高まりました、本市に多くの方が訪れ、にぎわいが生まれておりますで、ここに影響を受けながらもなんていうところまでコロナウイルス書かなくてもいいのではないのかなと。何だか、その前にも、2ページのほうでもコロナウイルスにより、シンフォニーによる取組にも大きな影響を及ぼしているということで、もう既にうたっているのです、この3行目から4行目にかかる新型コロナ感染症の影響を受けながらもなんていうようなことは別に文章にしなくても。本市に多くの方が訪れ、にぎわいが生まれていると言っているのだから、ここは抜いてしまってもいいのかな。新型コロナウイルスが3か所出てくるので。これは私の感想だけですから、消せとかということでもないのですけれども、あっても別に不思議ではないのですが、何か読んでいてそんな感じがしました。

以上です。

(二階堂武文委員長) ただいまの件について、ほかの委員の皆様、ご意見いかがですか。

(山岸 清委員) もっともな意見だと思うのだけれども、私の感覚としては、2ページのほうのコロナの影響を及ぼしておりますというやつを消して、重複を避けるなら、終わりの結論のほうに入れておくほうがいいのかという感覚では捉えたの。

(二階堂武文委員長) 2ページ目の14行のところですね。

(山岸 清委員) ええ。一方、影響を及ぼしておりますという、これは1行の中で入っているけれども、あと最後のまとめのところで行っておいたらいいのかななんて、こう思ったのですが。

(小松良行委員) でもこれ16行目にかかってくるのだよね。

(山岸 清委員) そうだね。では、後ろのほう取ってもいいな。そういうことなら後ろのほう削ってもいいのではないかなとは思います。

(二階堂武文委員長) ありがとうございます。

ほかの委員の皆様、いかがですか。

(山岸 清委員) それとはまた別なのだけれども、前にも委員会で何回か発言したと思うのだけれども、いろんな議会があるの、米沢は米織を着て、羽織はかまで米織をアピールして、あといわきは夏、議会でアロハシャツ着てアピールして。だから、私は古関裕而さんを顕彰して、議会で古関メロディー歌ったらどうかななんて思ったのだけれども、皆さんはどうだい。これは一つの意見で、例えば二階堂委員長が報告する場合に古関メロディーの何かを委員のみんなで歌うなんていうのはどうかななんて。ただ、みんなが駄目と言え、それは駄目でいいのだ。提案として。

(二階堂武文委員長) 委員長報告の最終まとめの段階なものですから。

(山岸 清委員) いや、だからこれは一つの意見として。その他のときに言えばよかったのだね。

(川又康彦委員) 委員長、副委員長のほうで前回の部分から非常によくまとめていただいて、小松委員からコロナウイルスの影響についての言及がありましたが、私としてはこの委員長報告案で、今日提出いただいたものでそのままやっていくのがいいのではないかなと感じております。

(小松良行委員) ただ単に3つも書いて、くどいなと思っただけで、皆さんがこのとおりでいいというのであれば、ここは全然こだわるところではないです。

(石山波恵委員) ちょっと今さらなのですけども、5ページなのですけども、11行目のところで鼓笛隊のパレードとか合唱とか古関氏の楽曲の活用とか、いろいろその後の楽曲をジャズやポップスなど様々なジャンルに編曲し、一堂に会する音楽フェスティバルという、音楽フェスティバルの捉え方なのですけども、この部分だけだと、例えば合唱や楽器や云々となると、踊りは入らないという、何かフェスティバルというと一緒に踊りも、というふうなフェスティバルという捉え方もできるかななんて思ったのですけれども、実は先日も8月10日に駅前でフラッシュモブというか、古関裕而氏の誕生日が11日だったということで、市内のダンスの人たちがそこで踊りをやったら、炎天下にもかかわらず、やはり人が多かったのと、あと昨年までやっていたダンシングソーダナイトも顧みますと、やはり福島ってダンス人口がめちゃくちゃ多くて、古関裕而氏の栄冠は君に輝くとか、いろんな楽曲でも、それこそポップスやジャズの編曲で踊りにも発展もできるということも考えると、音楽フェスティバルの意味なのですけども、楽曲と合唱だけというのだったらあれですけども、もし踊りとかの部分とかも含められるような音楽フェスティバルとなると、もう少し参加人数の拡大ということも考えられるのではないかなとちょっと思っていたのですけれども、この意味はどんな感じのフェスティバルということですか。

(二階堂武文委員長) 先日も駅前でいろいろ踊りも含めて皆さんご参加いただいて盛り上がったとい

うことは、報道でも伺っておりました。そういった意味では、含めてというふうな捉え方でいいのではないかなと思いますし、もし文言的にそれでもというのであれば、フェスティバルという形で、音楽的なことを前にいろいろ書いてありますから、お祭りをという形で、音楽の2文字を取るぐらいということも。

（石山波恵委員）別にダンスの文言を入れようとか、踊りを入れようということではなく、この意味合いとしてそんな形も含まれるというような思いがあるのだったら、全然それは構わないかなと思ったのですが、ただそれも入るのかななんて、その辺がちょっと気になったものですから、ちょっと質問してみました。

（二階堂武文委員長）ありがとうございます。それらを含めて捉えておりましたので。

（石山波恵委員）分かりました。では、大丈夫です。

（二階堂武文委員長）では、文言的にはこの文言でよろしいですか。

（石山波恵委員）はい。

（二階堂武文委員長）先ほどの6ページ目の小松委員のほうからご意見を頂戴した件だったのですが、ほかの委員の皆様、いかがなものでしょうか。私といたしましては、できましたらこの文言で。

（小松良行委員）いいよ、全然。このままで。

（二階堂武文委員長）進めさせていただいてよろしいですか。

（小松良行委員）構いません。お願いします。

（二階堂武文委員長）ありがとうございます。

ほかご意見ございますか。よろしいですか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

（二階堂武文委員長）どうもありがとうございます。

それでは、修正箇所はないということで皆さんにご確認いただきましたので、本日の素案を各会派にお持ち帰りいただき、ご確認をお願いしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（二階堂武文委員長）それでは、そのように進めさせていただきます。

会派持ち帰りの結果の確認は、次回8月26日の委員会で行います。

会派持ち帰り用の素案を書記に配付させます。

【資料配付】

（二階堂武文委員長）それでは、各会派のほうの確認をよろしく願いいたします。

最後になりますが、その他に移ります。

委員の皆様から何かございましたらよろしく願いします。

（山岸 清委員）さっき言った件、みんなの意見を聞いて、駄目なら駄目でいいのだけれども。何でもかという、いわきとか米沢は、その都度テレビに映っていくのだよ。だから、委員長報告のときに

テレビ来るようにして、歌を歌うからと言っておけば来るかなと思って期待していたのだけれども。皆さんの意見で、駄目といえぱそれでいいのだ。

(二階堂武文委員長) それでは、この件につきましては、自由協議といたします。

【この間自由協議】

(二階堂武文委員長) 委員会を再開します。

ただいまご協議いただきましたが、委員長報告の際に古関メロディーを歌う件については、見送らせていただきます。

その他について、ほかの委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午前10時38分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文